

基礎学力試験問題

Ⓑ

1 受 験 心 得

- (1) 指示があるまで開いてはいけません。
- (2) 問題の内容に関する質問にはいっさい回答しません。
- (3) 試験時間中はすべて係員の指示に従ってください。
- (4) 計算等は余白を利用してください。計算機、定規、分度器、コンパス等の使用は認めません。
- (5) 携帯電話等の電源を切り、使用できない状態にしてカバン等にしまってください。

2 注 意 事 項

- (1) 受験番号、氏名及び整理番号を解答用紙の決められた欄に記入してください。（2枚目にも記入してください。）
- (2) 問題は、①～②までで、全部で8ページにわたって印刷してあります。
- (3) 基礎学力試験の試験時間は、80分です。
- (4) 声を出して読むではいけません。
- (5) 答えはすべて解答用紙の解答欄に記入してください。
- (6) 答えを直すときは、きれいに消してから、新しい答えを書いてください。

1 資料を見て以下の問いに答えなさい。

問1 グラフ1と表2から読み取れることとして、誤っているものを以下より一つ選びなさい。

- (ア) 平成2年度から令和元年度まで、日本語の学習者数は増え続けている。一方、この間の教育機関・施設数は前年度に比べて減っている年もある。
- (イ) 日本語教育実施機関・施設数の減少数が最も大きいのは、平成25年度から平成26年度にかけてである。
- (ウ) 令和元年度の日本語学習者数は、平成2年度の日本語学習者数のおおよそ4.5倍となっている。
- (エ) 令和2年度の日本語学習者数を機関別に見ると、いずれの国でも一般施設・団体で学習している者が大学等機関で学んでいる者よりも多い。
- (オ) 令和元年度において、1位の中華人民共和国出身の日本語学習者数は、5位のフィリピンの約9倍、10位のタイの約20倍である。

グラフ1 日本語学習者数と日本語教育実施機関・施設数

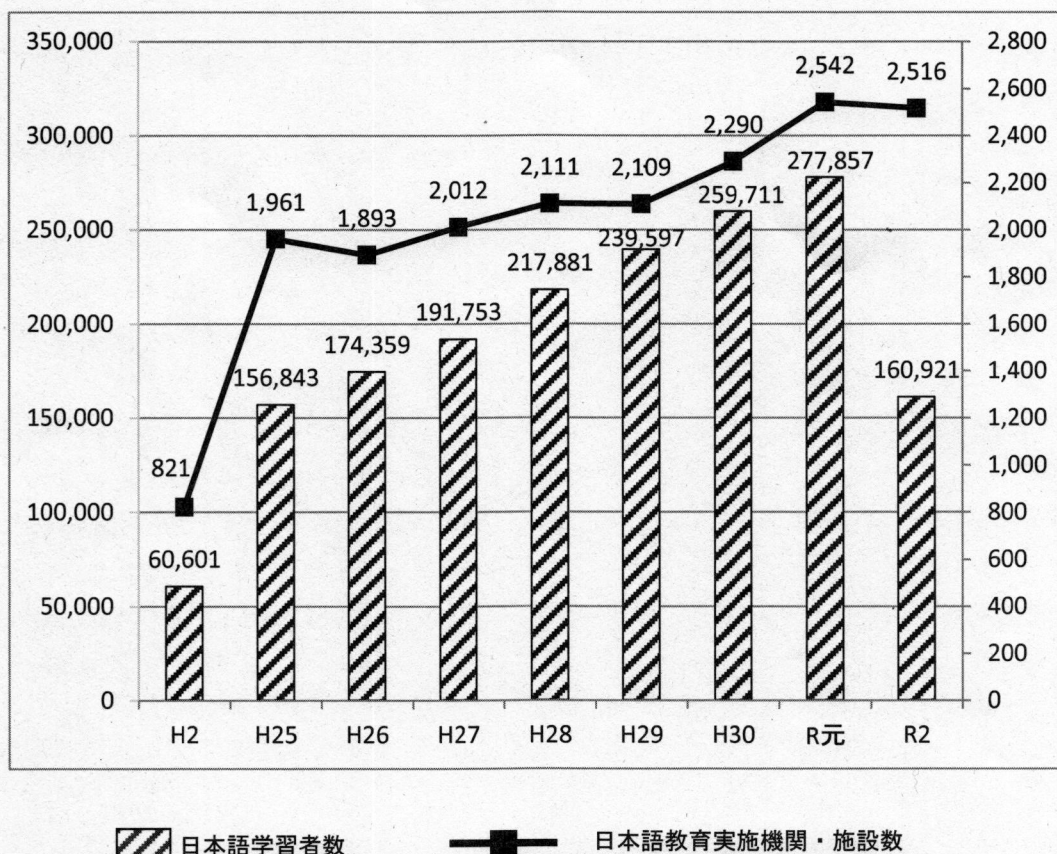


表2 日本語学習者の出身国・地域別の内訳

順位	国・地域名	令和元年度の 日本語学習者数	令和2年度の日本語学習者数		
			合計 (割合)	大学等機関 (順位)	一般の施設・団体 (順位)
1	中国	91,547	53,534 (33.3%)	21,472 (1)	32,062 (1)
2	ベトナム	62,117	35,839 (22.3%)	6,559 (2)	29,280 (2)
3	ネパール	14,246	9,314 (5.8%)	2,007 (4)	7,307 (3)
4	ブラジル	8,159	6,063 (3.8%)	139 (21)	5,924 (4)
5	フィリピン	10,125	5,929 (3.7%)	242 (16)	5,687 (5)
6	大韓民国	11,593	5,755 (3.6%)	3,581 (3)	2,174 (8)
7	インドネシア	8,083	5,127 (3.2%)	1,159 (5)	3,968 (6)
8	台湾	8,734	3,347 (2.1%)	1,008 (6)	2,339 (7)
9	アメリカ合衆国	5,628	2,445 (1.6%)	389 (13)	2,056 (9)
10	タイ	4,518	2,431 (1.5%)	617 (8)	1,814 (10)

問2 (1) はグラフ3を、(2) は表4と表5を見て、次の問に答えなさい。

- (1) 次の文章の空欄 (①) ～ (③) に入る語句を選択肢ア～オから選び、記号で答えなさい。
また、空欄A、Bに入る数字を記しなさい。

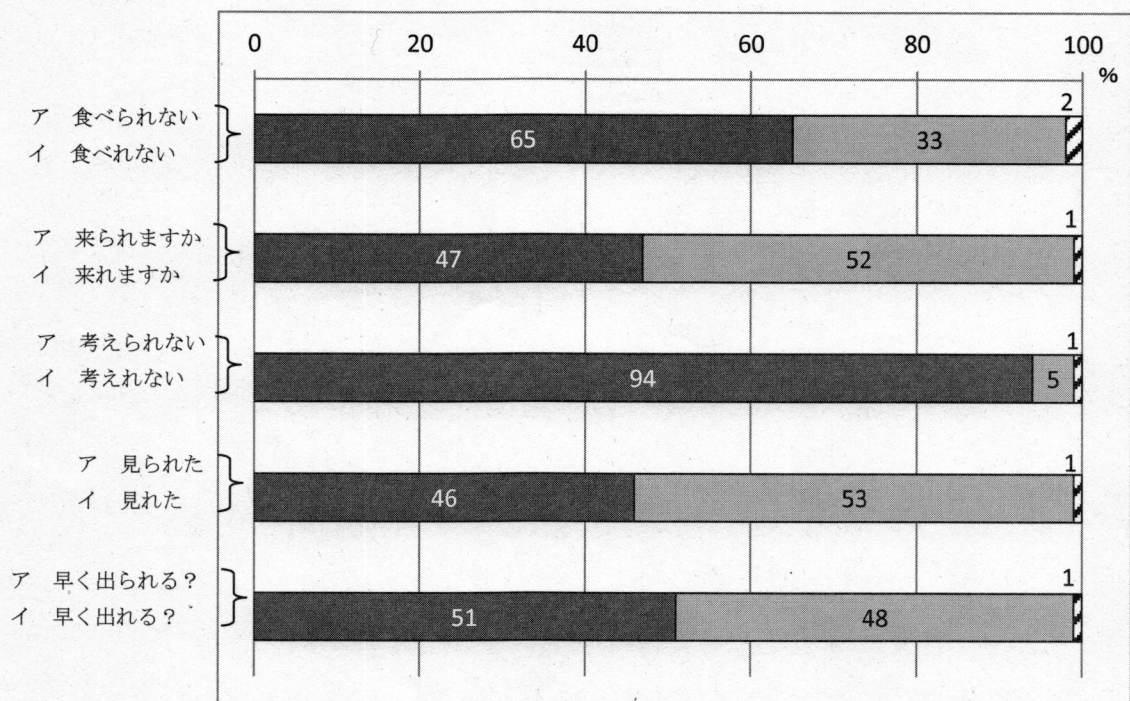
グラフ3は、「れる／られる」「やる／あげる」の言い方について、それぞれどちらの言葉を普段使っているか聞いた答えを示している。「れる／られる」について、可能(～できる)の意味で用いられる「られる」であるが、近年では「れる」という言葉が用いられることが増えていることを示している。一方、「やる／あげる」は、目上の者から目下の者へものを与えるときに使う言葉が「やる」で、目下のものから目上の相手に何か与えるときに使う言葉が「あげる」である。

「れる／られる」について見ると、本来使うべき「られる」よりも「れる」の方が多く用いている言葉として、一番割合が高いのは「(①)」、次いで「(②)」である。つまり、(①)と(②)は本来の「られる」よりも「れる」の方を用いる人が多くなってきたことを示している。言葉は、時代の移り変わりとともに変わっていくものであるが、今後、「れる」と「られる」の使い方が逆転する可能性があるのは「(③)」である。

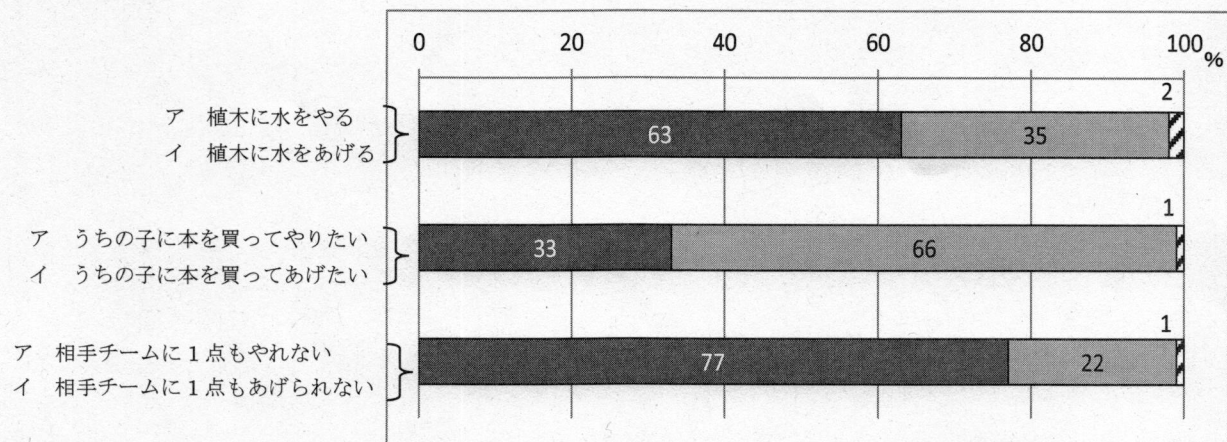
「やる／あげる」については、植木については、「やる」を用いる人が「あげる」を用いる人の(A)倍であり、うちの子については「あげる」を用いる人が「やる」を用いる人の(B)倍となっている。

グラフ 3

○「れる／られる」



○「やる／あげる」



■ アの言い方を使う

■ イの言い方を使う

▨ 無回答

【選択肢】

ア 「食べられない／食べれない」

イ 「来られますか／来れますか」

ウ 「考えられない／考えれない」

エ 「見られた／見れた」

オ 「早く出られる?／早く出れる?」

- (2) 次の文章の空欄 (④) ～ (⑥) に入る語句を選択肢カ～コから選び、記号で答えなさい。
また、空欄C、Dに入る数字を記しなさい。

表4は、「そっこう」や「めっちゃ」などの言葉について、「使うことがある」と答えた人の割合を、表5はそれらの言葉を「ほかの人が使うのが気になる」と答えた人の割合を示している。

(1) ～ (5) の日本語について、年代が上がるごとに「使うことがある」と答えた人の割合が低くなるのは、(④)、(⑤) という言葉であるが、全体として使う人の割合が多いのは (⑤) の方である。一方、16～19歳から40代までを見た場合、年齢が上がるごとに「使うことがある」と答えた人の割合が上がるのは (⑥) という言葉である。

「(2) じみに痛い」について、「ほかの人が使うのが気になる」と答えた人について、「気になる」と答えた50代の割合は、16～19歳の (C) 倍である。一方、「(4) 鬼かわいい」が「気になる」と答えた60代の割合は、16～19歳の割合の (D) 倍である。

表4 気になる言葉「そっこう」「めっちゃ」等を使うことがあるか。

%

	全体	16～19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
(1) そっこう帰る	39.0	57.8	65.9	63.5	62.8	47.1	18.8	11.3
(2) じみに痛い	39.8	93.8	91.9	80.5	60.7	34.6	12.3	7.3
(3) めっちゃおいしい	57.9	93.1	91.9	87.3	78.2	64.6	43.8	22.2
(4) 鬼かわいい	4.8	18.1	18.8	5.5	2.4	2.0	1.4	4.0
(5) まるっとわかる	10.7	3.3	12.7	15.4	15.6	9.8	3.3	7.6

表5 気になる言葉「そっこう」「めっちゃ」等が気になるか。

%

	全体	16～19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
(1) そっこう帰る	31.9	14.6	9.1	11.3	13.3	19.3	37.0	66.6
(2) じみに痛い	36.6	4.2	3.2	7.2	15.0	29.4	51.9	72.3
(3) めっちゃおいしい	18.2	5.6	3.6	6.3	8.5	11.9	21.0	38.1
(4) 鬼かわいい	72.7	50.4	55.5	69.0	68.1	70.9	75.6	83.9
(5) まるっとわかる	62.4	64.6	57.8	54.1	58.2	59.6	61.2	72.2

【選択肢】

- | | |
|------------------|---------------|
| カ (1) 「そっこう帰る」 | キ (2) 「じみに痛い」 |
| ク (3) 「めっちゃおいしい」 | ケ (4) 「鬼かわいい」 |
| コ (5) 「まるっとわかる」 | |

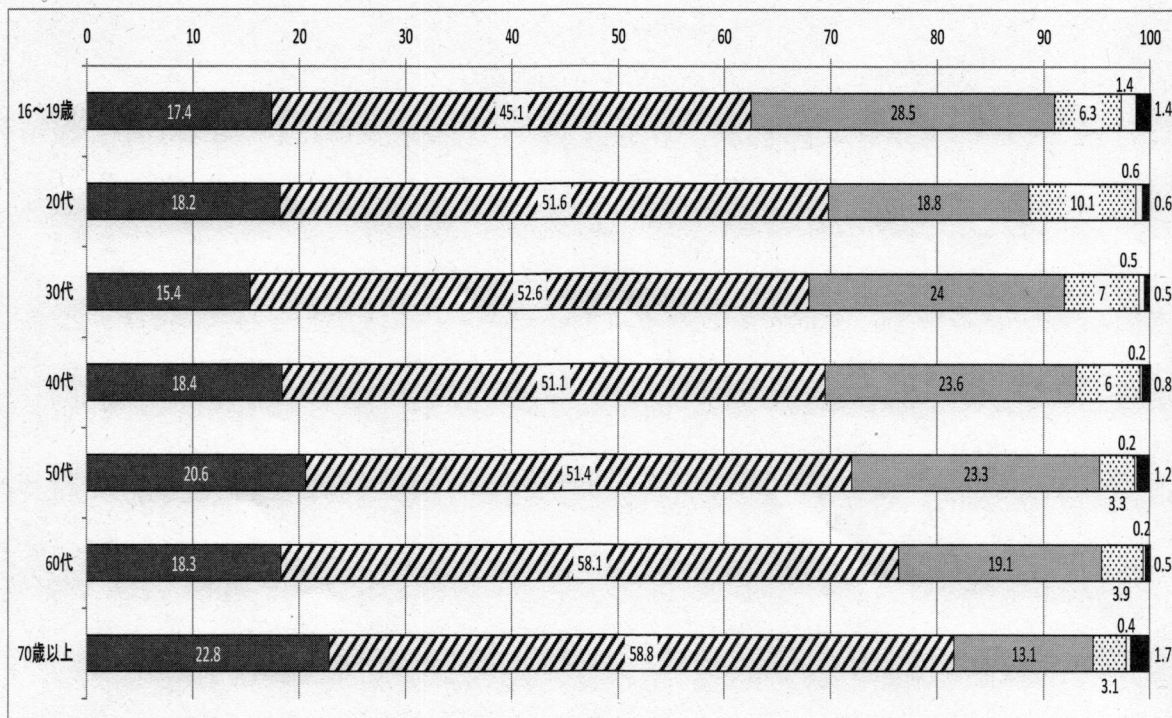
問3 グラフ6と【資料】を参照して、以下の問いに答えなさい。

グラフ6 「あなたは、毎日使っている日本語を大切にしていますか。それともそうはしていませんか」との質問の回答である。

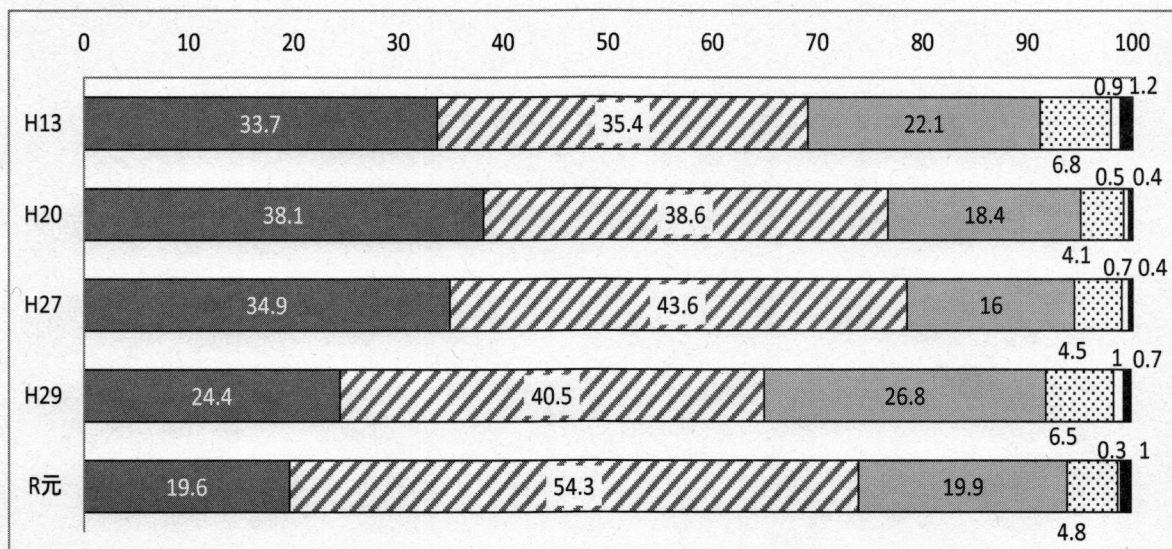
○年齢別

- 大切にしていると思う ▨ あまり意識したことはないが、考えてみれば大切にしていると思う
 ■ どちらとも言えない ▤ 特に大切にしていらないと思う □ 大切にしているとは思わない
 ■ 分からない・無回答

(%)



○年代別



【資料】

○社会全体にとっての国語

社会生活は、人間と人間の関係によって成立しているが、その人間関係を成立させるのがコミュニケーションの手段として用いられる国語である。コミュニケーションを成り立たせている「聞く・話す・読む・書く」のすべてが国語を通して行われ、これらの活動を介して社会生活が成立している。

○社会変化への対応と国語

現代の社会においては、価値観の多様化が大きく進展している。多様な考え方や価値観を持った人々との間で伝え合い、相互理解を深めながら人間関係を形成していくためには、これまで以上に高度な国語の運用能力が必要である。

- (1) 各年代について、令和元年度全体の「大切にしていると思う」、「あまり意識したことはないが、考えてみれば大切にしていると思う」と答えた人の全体数値よりも、いずれも数値が高いのはどの年代か。
- (2) (1)の理由と、これから必要なことを【資料】を参考にして120字以上150字以下で記述しなさい。
なお、「大切にしていると思う」、「あまり意識したことはないが、考えてみれば大切にしていると思う」は合わせて「大切にしていると思う」、「特に大切にしていらないと思う」、「大切にしているとは思わない」は合わせて「大切にしていらないと思う」として記述しなさい。

2

問1 次の間に答えよ。

(1) $\left(-\frac{1}{2}\right)^3 - \frac{5}{16} \times (-24)$ を計算せよ。

(2) $\frac{3}{4}(a-2b) - \frac{1}{6}(4a-3b)$ を計算せよ。

(3) $(x+3y)^2 + (x+3y) - 6$ を因数分解せよ。

(4) $\frac{\sqrt{51}}{3}$ 、 $\frac{\sqrt{26}}{2}$ 、 $\frac{7}{2\sqrt{2}}$ 、 $\frac{2\sqrt{3}}{\sqrt{2}}$ のうち、最も大きい数はどれか。

(5) $a = \frac{3bc+1}{2} (c \neq 0)$ を b について解け。

(6) 1次方程式 $7x - 4(3 - 2x) = -3x + 8$ を解け。

(7) 連立方程式 $\begin{cases} 4y = 3x \\ 6x - 5y = -36 \end{cases}$ を解け。

(8) x に関する2次方程式 $2x^2 - 5ax + 8 + a^2 = 0$ において、2が解となるとき、定数 a の値を求めよ。

(9) 次の表は、100点満点のあるテストを4回受けた結果である。5回目を受けて平均点が67点になったとき、5回目の得点が何点であることを求めよ。

回	1	2	3	4
得点(点)	78	59	56	69

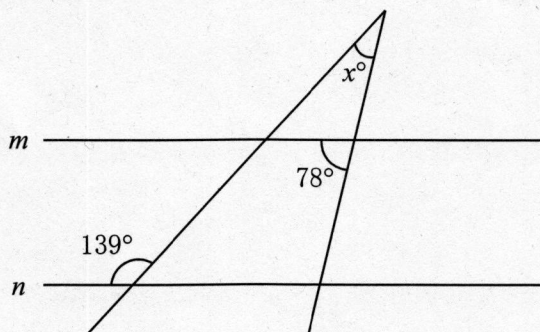
(10) 赤玉2個、白玉2個、青玉1個が入った袋から、同時に2個の玉を取り出すとき、赤玉と白玉が1個ずつとなる確率を求めよ。

問2 次の問いに答えよ。

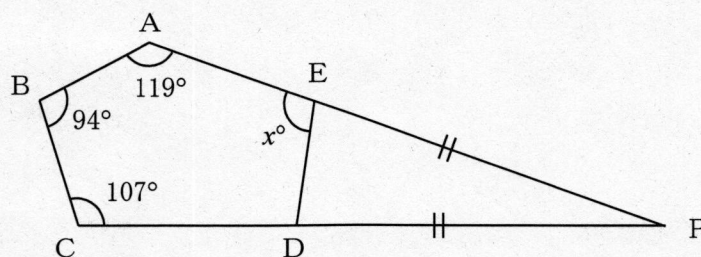
- (1) y は x に反比例し、 x の変域が $2 \leq x \leq 4$ のとき、 y の変域は $\frac{3}{2} \leq y \leq 3$ となる。 y を x の式で表せ。
- (2) 1 次関数のグラフが点 $(5, -2)$ を通り切片が 3 であるとき、このグラフの傾きを求めよ。
- (3) 2 直線 $y = -2x - 6$ と $y = ax - 1$ の交点の x 座標が -2 であるとき、 a の値を求めよ。
- (4) 関数 $y = \frac{1}{4}x^2$ について、 x の値が 12 から 20 まで増加するときの変化の割合を求めよ。
- (5) 関数 $y = \frac{4}{3}x^2$ のグラフと直線 $y = 2$ が交わる 2 点を A、B とし、また原点を O とするとき、 $\triangle OAB$ の面積を求めよ。

問3 次の問いに答えよ。(ただし、円周率を π とする。)

- (1) 弧の長さが 14π cm、中心角が 210° であるおうぎ形の半径の長さを求めよ。
- (2) 底面の 1 辺が 3cm、高さが 5cm の正四角柱の表面積を求めよ。
- (3) 次の図において、 $m \parallel n$ のとき、 x の値を求めよ。



- (4) 図のように、五角形 ABCDE の辺 CD を D の方へ延長し、辺 AE を E の方へ延長して交わった点を P とすると、三角形 PED が $PE = PD$ の二等辺三角形になるとき、 x の値を求めよ。



- (5) 表面積が 25π cm² の球の半径を求めよ。